

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	M.S.	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学 年	4	派遣国	イギリス
派遣大学	キール大学		
期 間	2023 年 9 月 14 日～2024 年 6 月 8 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (16 万) 円*1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	60000 円	自炊に必要な食材・カフェ代など
学用品購入費	0 円	
交通費	3000 円	スーパーまでのバス代
交際費	50000 円	デートリップなど
その他	10000 円	洋服など

合計

123000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

かなりの田舎にキャンパスがあるため、キャンパス周辺で治安が悪いと感じたことは一度もない。キャンパス内であればセキュリティもしっかりしている。しかし、スーパーのあるニューキャッスルや、最寄り駅周辺の夜はとても治安が悪いと聞いたことがあるため、夜間の一人での外出は控えた方がよいだろう。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 /		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(19710) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Immigration of Health Surcharge (IHS)		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(88655) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (Staffordshire/Newcastle Under Lyme)

スーパーや日用品の購入など、簡単な買い物はキャンパスからバスで 15 分ほどの場所にある Newcastle Under Lyme で済ませることができる。大きなスーパーが 3・4 個あるため、目的に合わせて使い分けていた。比較的大きな映画館があり、料金も良心的なため、休日は映画を見に行くこともあった。規模は小さいが、週末にはマーケットが開催されている。セカンドハンドのチャリティーショップも数多くあり、安く洋服や食器などの日用品を手に入れることができる。

最寄り駅の Stoke on Trent まではキャンパスからバスで 40 分ほどかかる。駅周辺は特に栄えているわけではないが、数個前のバス停で降りたところには MISO という日本食レストランがある。アジアからの留学生には特に人気だった印象がある。留学中に日本食が恋しくなった際に訪れることをおすすめする。

【学業編】

1. 大学情報

大学	キール大学	所在地	Staffordshire/Newcastle Under Lyme
最寄空港	マンチェスター空港	空港からの距離	1 時間半から 2 時間程度
空港⇄大学	(キャンパスから最寄り駅までバス→電車で空港へ(乗り換え 1 回)) *移動手段		
学生数	不明	留学生数	不明
学部	たくさんの学部が存在するため下記サイトの参照をお勧めします。 https://www.keele.ac.uk/study/undergraduate/undergraduatecourses/ *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	留学生は専攻という考え方はなく、文理問わず好きな講義を履修できる。 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Marketing Principles (Lecture) Marketing Principles (Tutorial)	The Photographic Message (Seminar)	課題	家事 or 外出	課題
午後	Japanese Society (ミーティング or イベント)	TPM 作業	EAP3		British Cultural Studies

② (1)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Introduction to International Business (Lecture) Foundation of HRM (Lecture)	課題	課題 or 授業前に友人とランチ	Consumer Behaviour (Lecture)	家事 or 外出
午後	Introduction to International Business (Lecture) Japanese Society (ミーティング or イベント)	Foundation of HRM (Tutorial)	EAP3	Consumer Behaviour (Tutorial)	

3. 履修内容

科目	Marketing Principles		
履修期間	Semester 1	単位数	15
授業内容／形態	マーケティング論の基礎を学ぶ。Lecture と Tutorial が週に 1 コマずつ開講される。Lecture では毎週テーマに沿った理論を学び、Tutorial では事前に配布されるケーススタディをもとに、グループでディスカッションを行うことで理解を深める。		
成績	70		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	The Photographic Message		
履修期間	Semester 1	単位数	15
授業内容／形態	画像編集ソフト Photoshop の使い方を学ぶ。自身のアイデンティティをフォトモンタージュという形で表現することが最終課題となっており、毎週の授業やプレゼンテーションを通して作品を完成させていった。		
成績	67		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	English for Academic Purposes 3		
履修期間	Semester 1&2	単位数	15
授業内容／形態	到着時に受けた英語のテストの結果によってクラス分けされる英語の 4 技能の向上を目指す授業。アカデミックなエッセイの書き方やディスカッション、プレゼンテーションの方法を 2 セメスター通して学ぶ。10-15 人ほどの小人数制で行われる。		
成績	未定		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	British Cultural Studies		
履修期間	Semester 1	単位数	15
授業内容／形態	イギリスの様々な文化を週ごとに異なるテーマで学んでいく。イギリスならではのロイヤルファミリーやパブの文化についてスライドをもとに学んだ。最終課題ではグループでイギリス文化に関する 15 分ほどの動画を撮影し、クラスで鑑賞会を行った。		
成績	62		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Introduction to International Business		
履修期間	Semester 2	単位数	15
授業内容／形態	International Business に関する基礎を学ぶ。サプライチェーンやマーケティング、会計など、IB に必要な幅広いトピックを週ごとに学んだ。Tutorial ではケーススタディのディスカッションを行ったり、動画をみて知識の補充をしたりした。		
成績	未定		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Foundation of Human Resource Management		
履修期間	Semester 2	単位数	15
授業内容／形態	人的資源のマネジメントにおける基礎知識を学ぶ。いくつかの大きな理論をベースに、様々なトピックを扱っていた印象である。日本との違いや共通点を考えながら学習すると興味深い。将来のキャリアを考える上でも有意義な授業であった。		
成績	未定		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Consumer Behaviour		
履修期間	Semester 2	単位数	15
授業内容／形態	消費者行動について学ぶ。Semester1 で履修した Marketing Principles よりも心理学に近い理論を取り扱っており、一消費者として新たな視点から購買活動を見ることができた。最終課題のエッセイで 100%評価が決まるのが特徴的であった。		
成績	未定		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

留学生生活を通して学んだこと・気づいたことは、大学生生活と日常生活で大きく分けてそれぞれ二点ずつある。

【大学生活】

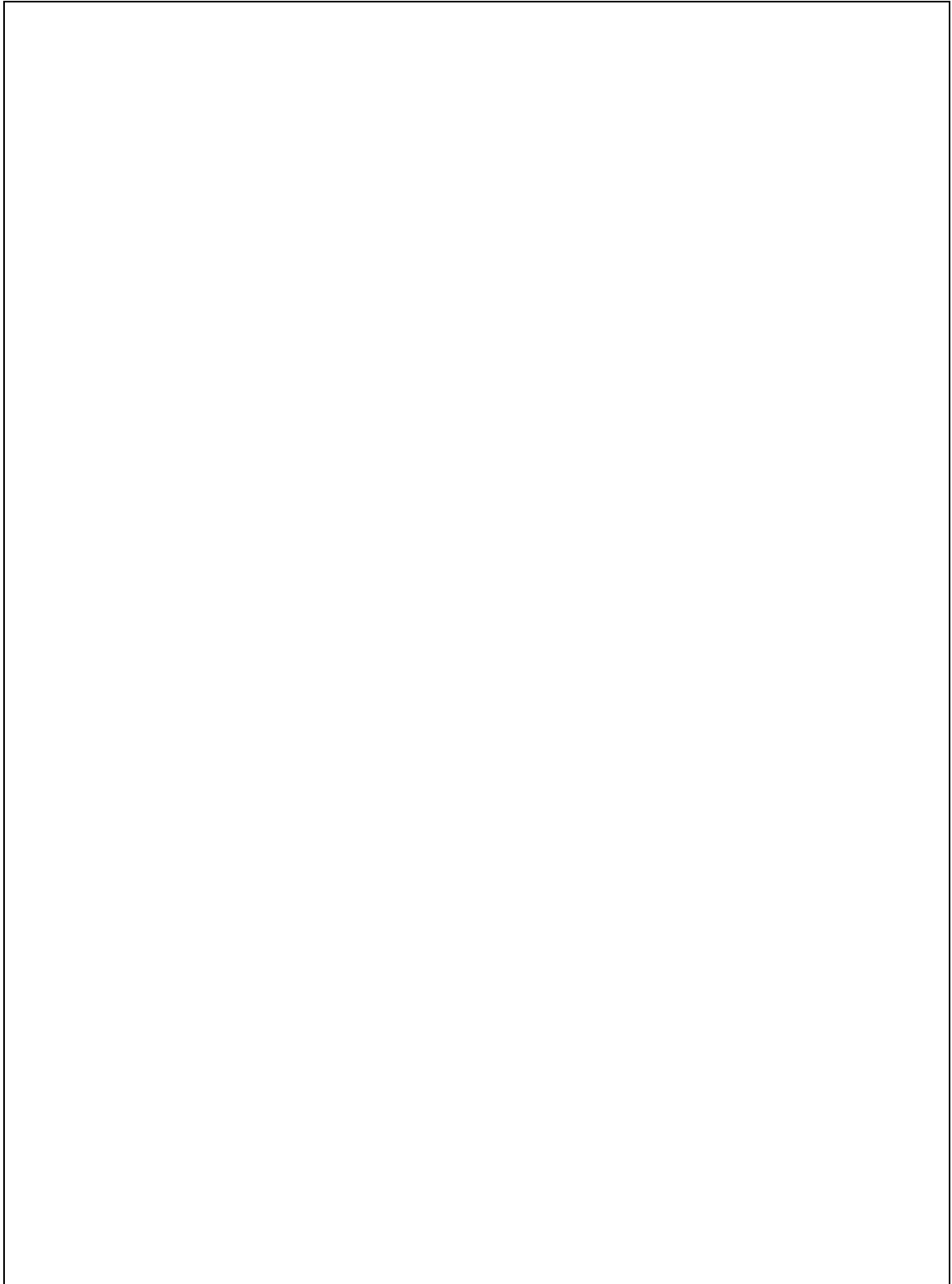
一点目は、授業内容の密度が非常に濃いということである。キール大学の大半の授業形式は一つの授業につき週に Lecture が 1 時間、Tutorial が 1 時間で、実際に先生が講義を行うのは 1 時間(移動の時間を考慮して実際は 50 分)である。日本の大学であれば 90 分かけて教える内容を 50 分でテキパキ進める印象なので、慣れるまでは授業スピードが速いと感じる。Tutorial では事前にタスクが課されることがほとんどで、授業内容を理解していないと要点をつかめないということも多々あるため、予習と復習の重要性を改めて実感した。

二点目は、エッセイの構成や引用のルールが厳密であるということだ。日本のレポートでも引用する際は引用元を明記する必要があるが、イギリスではいくつかのスタンダードがあり、学部によって適用するルールが異なる。提出したエッセイやテストはシステムに通され、すぐに類似度や引用ミスが分かる。そのため、エッセイを書く際には自身の意見を裏付ける文献を探し、自分なりに要約を行ったうえで、ルールに沿って引用元を記載するという一連のプロセスに一層の注意が必要だ。アカデミックな場面でのライティング力をかなり鍛えることができたと感じている。

【日常生活】

一点目は、想像以上に多様性に富んでいるということだ。日本で生活していると、見た目や言語、文化において他人と大きな差がないため、「違い」が非常に目立つと感じる。しかし、イギリスは本当に多くの人種が世界中から集まっており、バックグラウンドも様々である。そのため、違うことが当たり前で、だからこそ他人と比較しようとすらない印象を受ける。この点に関して、日本との大きなギャップを感じた。イギリスに住んでいて一度も差別を受けたことはなく、自身が外国人であるという認識もあまり感じなかったのはいい意味で予想外であった。

二点目は、みんな他方に寛容であるということだ。イギリスに住んでいると、電車やバスが頻繁にキャンセルになる。公共交通機関が当たり前に時間通り来る日本人の感覚ではとても信じられないことだが、現地の人々は「仕方ないか～」くらいのスタンスでいることがほとんどだ。そのほかにも、日本であればクレーム案件になるような、スマホをいじりながら、つまみ食いをしてながら働くなんてことも、やることさえこなしていれば誰も何も言わない。これを良しとするかは人それぞれだと思うが、国を超えるとこんなにも人々のマインドが異なるということに気づくことができた。



(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

留学生活を通して、目に見える成果だけではなく、言語化できないような力まで、本当にたくさんのことを身に付けることができた。この経験を自身のキャリアプラン、そしてライフプランに存分に反映させていきたい。具体的な次のステージとしては就活と卒論が挙げられる。

就活では、留学によって出遅れてしまった分を弱みではなく強みとしていけるよう、自己分析や業界研究、面接練習に励みたい。また、留学生活を通して目にした海外の働き方に対するスタンスを忘れずに、自身の軸を定めていきたい。

卒論では、渡航前にある程度決めていたテーマで本当に良いのか、再度見つめ直し、留学先での知見も取り入れた研究にしていきたい。留学中に鍛えられた英語の論文を見つける→読む→重要箇所をピックアップ→言い換え→エッセイに組み込むというプロセスを、卒論にも応用することで、より質の高い論文を作成していきたいと考えている。

就活と卒論を同時に進めなければいけないため、かなりタイトなスケジュールになるが、タイムマネジメントを徹底して、どちらも満足のいく結果につなげたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学は「準備」と「行動力」が物を言うと思います。留学先の選択から、渡航に必要な手続き、渡航先の課題など、留学を終えるまでにはたくさんの壁がありますが、とにかく準備を徹底することがより良い留学生活を実現するための必須条件です。私も初めての留学で、わからないことだらけでした。何度も投げ出しそうになる出来事がありましたが、今振り返れば海外で生き抜くためにはそれに必要なスキルの1つだったと思います。わからなければ、調べる、聞く、できることはたくさんあるので、ぜひ根気強く粘ってみてください！

そして、起こるかわからないことへの心配よりも、まずは動いてみることをおすすめします。私は留学当初、英語で自分を表現することに怖さを感じてしまい、受け身の姿勢を取ってしまいました。英語が第一言語ではない私が英語を完璧に話す必要はない！と割り切ることができるようになってからは、何事も前のめりで行動してきました。もちろんつらいこともたくさん経験しましたが、挑戦したからこそその学びは本当に大きいです。念願の留学生活だと思いますので、限られた時間をどれだけ濃いものにできるか、ポジティブな思考を大切に、たくさん挑戦してみてください！応援しています！